

## カナダ派遣

湧別高校 2年 藤本 虎弥太

カナダ派遣において3つの目標を立てた。まず一つ目が本場の英語を聞いたり学んだりすることだ。これは、自分の中では良く出来たと思う。派遣の後半、ホームステイ先の家族の言葉を無意識のうちに聞き取ることができ、大分慣れることが出来たと思う。

2つ目は、日本との文化の違いだが、特に学校では授業中に食事をとっても大丈夫だったり、スマートフォンを使っても大丈夫だということだ。他にも音楽を聴いてもいいというような日本では考えられないようなことがカナダでは当たり前なんだということがわかって驚いた。さらに、食事では食べ物を残すのが当たり前で日本では大きく違うなと思った。

そして、3つ目が友だちを作ることだが、ホストファミリーを始め多くの人と友だちになれたと思う。自分は不快にしないように心掛けた。さらに、カナダの人たちはフレンドリーなのでより仲を深めることができたと思う。

カナダに行ってから努力したことは、とりあえずしっかりした英語ではなくても質問されたりしたことや自分の思いは伝えようとしたことだ。その結果、コミュニケーションを多く取ることができたと思う。

学んだことは、やはり英語の発音だったり、イントネーションだったりするが、一番は人との関わり方だと思う。ホストファミリーに言われたことなのだが、最初はあまり話せず静かな印象を受けたが、最後はたくさん話せたと言っていた。最初の自分は内気だったがとりあえず話そうと思った結果、自分自身を少し外向的にすることができた。思いがけない自分の成長は素直に嬉しい。カナダに行けて良かったと思った。

行く前に思い描いていたことと実際の生活の違いはカナダの人たちは物の管理をしっかりしているということだ。行く前は大雑把なのかなと思っていたが、貴重品の管理をしっかりしているし、学校では自分のロッカーに鍵をかけていて失礼かもしれないがちゃんとしていて感心した。

カナダで生活してみて感じた日本との違いは、まず生活はカナダは朝が明けるのが非常に遅かったのでもこんなに真っ暗なのに起きるのかなと思えば時間を見たら7時30分だったり朝は大変だった。そして、日本との違いは時間にルーズだということだ。あと少しで出発しなければいけない時にのんびりしていたりと少しルーズなのかなと思った。

驚いたことはアイスホッケーの試合を見ていて乱闘を平気でしていて驚き戸惑った。

同じだったことはコーラやスプライトなどの飲み物があった。味は少し違った気がする。

自分の成長は前に書いたが積極性が増えたことだ。この経験は今後にも活かしていきたいと思った。

湧別町、家族、色々な人に感謝でいっぱいだ。自分ひとりではいけなかったことだし、行くにあたって準備をしてくださった人々に感謝をしている。この経験を糧としてこれからの人生を歩んでいこうと思う。